

Ⅶ-2. 伝統的工芸品産地調査・診断事業

Survey on the Traditional Craft Industry

キーワード Key Word	伝統的工芸品 地場産業 地域活性化 付加価値 原材料 生産用具 Traditional Craft、Regional Industry、Regional Development
--------------------------	---

1. 調査の目的

伝統的工芸品産業は、旧来からの原材料や生産用具へのこだわり、手作りによる伝統的な技術・技法により生産され、地域の生活や風土に根付いた産業として発展し、我が国のものづくりの原点として継承されながら地域経済、歴史・文化形成に大きな影響を与えてきた。しかし、ライフスタイル・生活環境の変化や海外製品輸入の急増、ダンピング競争の激化等に伴い需要は減少の一途をたどり、伝統的工芸品産業・産地は大幅に縮小し、閉塞感を強めている。

一方、伝統性が有するこだわり・風合いや地域性は付加価値性を有し、一定のファン層を下支えとしながら、地域ブランド化とあわせて反転攻勢にでる産地もでてきている。伝統的工芸品産業の質的競争力強化や地域産業の高付加価値化の観点から、伝統的工芸品産業の振興、産地の活性化が急務な課題となっている。

本調査は、伝統的工芸品産地の実態を具体的かつ的確に捉え、産地の問題を掘り下げ、問題解決に向けた具体的な対応策や振興・活性化策、産地の実践的な取り組みの動きに結びつけることにより、伝統的工芸品産業の振興と産地の活性化に資することを目的に実施した。

2. 調査研究の概要

(1) 調査の構成

本調査研究は鳥取市の因州和紙を対象に現状分析と課題分析、今後の振興方向と具体的展開策の提言の3項目で構成される。初めに、①伝統的工芸品及び産地の形成過程や生産・流通構造の実態と問題点を調査し、伝統的工芸品の生産・流通における問題実態や取り組み状況・意向等を把握することにより産地が抱える問題を掘り下げ、産地の現状分析を行った。次に、②伝統的工芸品産業の振興や産地の活性化等への取り組み状況を調査し、これからの産地の取り組みポテンシャルを把握するとともに、産地の現状分析結果を踏まえこれから対応すべき課題分析を行った。今後の対応課題をもとに、③全国的な伝統的工芸品・産地の動向分析や事例分析結果を踏まえ、これからの振興方向を示し、達成していくための具体的な展開策を提案した。

(2) 調査の内容

①対象とする伝統的工芸品、産地

全国の指定伝統的工芸品・産地のうち次の工芸品・産地を対象に産地調査・診断事業を実施した。

- 因州和紙……鳥取県鳥取市青谷、佐治地区を中心とした和紙産地(32事業所・工房)

②伝統的工芸品・産地の現状と抱える問題

既存資料の収集・分析を踏まえ、伝統的工芸品を生産、販売する事業者、県及び市、関係機関にヒアリング調査を行い、産地の形成過程、伝統的工芸品の生産・流通構造、問題点、取り組み意向等を把握し、産地が抱える問題点を明らかにした。

<調査対象>

- 因州和紙・・・産地組合、事業所・工房、鳥取県、鳥取市、鳥取県産業技術センター

<調査方法>

- 地方自治体及び関係機関へのヒアリング調査
- 主要な事業者、工房、窯元へのヒアリング調査

・因州和紙 — 18の和紙製造・販売事業者(手漉き事業者、機械漉き事業所、産地問屋)

<調査項目>

- ・生産の実態と問題(製造品目・工程、生産額、従業員数、生産の動向、製品開発、問題など)
- ・取引の実態と問題(取引先、販売額、取引先・販売の動向、販路・需要開拓、抱える問題等)
- ・産地の特質と抱える問題(産地の特徴、産地の問題点、組合や行政等への支援ニーズ等)

③産地の取り組み動向と今後の対応課題

産地組合始め、県、市、関係機関にヒアリング調査を行い、因州和紙の振興や産地活性化への取り組み動向や問題点、取り組み意向等を把握し、産地の取り組みポテンシャルを踏まえて産地の特質を活かしたこれからの対応課題を明らかにした。

<調査方法>

- 上記の産地組合、地方自治体及び関係機関へのヒアリング調査
- 産地組合や県、市を交えた地元検討会、ワークショップによるブレインストーミング

<調査・分析項目>

- ・産地の取り組み状況(地域振興の構想・計画、産業観光・集客事業、展示・販売イベント等)
- ・産地の特質(歴史・伝統性、革新風土、生産・流通構造、地域性、人材・技術等)
- ・今後の課題(新規需要開拓、ブランド化、付加価値向上、内外の連携強化、産地結集軸構築等)

④伝統的工芸品・因州和紙産地振興に向けた今後の振興方向と具体的展開策

以上の調査結果及び全国伝統的工芸品産地の事例調査をもとに地元検討会によるワークショップを行い、これからの振興方向を検討し、当面の具体的な展開策を提言した。

(3)主な調査結果

<因州和紙>

①主要な書道用需要の減少に伴い産地問屋及び OEM 供給システムが崩れ、閉塞感が高まる

- ピーク時の 1/2 に縮小し、産地問屋や業務需要を中心とした OEM 供給構造が崩れる
- 書道人口・需要の減少に中国等からの低価格・手漉き和紙の輸入に伴い、生産量が半減する
- これまでの企業間競争に加え、生産の縮小と産地外との個別的取引増等に伴い企業間の関係が薄れ、疑心暗鬼が漂い、組合離れが進み、産地としてのまとまり、体を為さない状態にある
- 産地内の連携の弱体化やギスギスした関係のタコ壺化が、機械漉きと手漉きが共存し、長年の産地問屋との関係を維持して高価格・高級和紙から低価格・量産品に至る全国有数のどんな和紙でも製造できる特徴的な産地機能、製販一体体制を弱める

②書道需要に代替する新製品、需要開拓に取り組むが、市場開拓、産地の牽引力に結びつかない

- 独立心が強く、創意工夫と開発意欲に富む産地の担い手・中堅層を軸に、様々な機能性紙、立体漉き技術開発による立体形状和紙製品、壁紙などインテリア和紙製品等の開発、需要開拓に取り組み、多くの種まき、芽づくりに挑戦している
- これまでの量産体質、産地問屋やメーカー等による出口を当てにしたモノづくり体質から抜け出せず、産地内連携の希薄化や企業間のタコ壺化等も相まってそれぞれの個別的な取り組みに終始し、多品種・少量型の成熟した付加価値市場の開拓に結び付けられず、産地の閉塞感を強めている

③産地の一体感を高め、品質・付加価値競争力で一定の裾野を持つ成熟市場の新規開拓に挑戦する産地形成の方向で振興する

- 組合員がお互いに本音で話し合える場づくり、取組み基盤となる関係性の強化
- 産地内の企業間連携の強化と組合機能の再編、産地の結集軸の構築
- 行政や関係機関・団体等との連携強化、産地の一体的取組体制の構築
- 産地外、異業種等との交流、ネットワーク化による新製品、新規需要開拓の促進
- 地域ブランド化の促進による付加価値づくりと市場における訴求力、識別力の向上
- 各企業に分散する新たな芽、種や知恵・経験、経営・技術資源、情報、ネットワーク等を束ね、産地一体的な取り組みに仕立て、成熟市場における多品種少量型市場の裾野開拓を図る